

新基地建設反対名護共同センターニュース

2・24 県民投票を成功させよう！ 名護市で「歌とギターのつどい」開く



名護市で19日、「県民投票を成功させるための歌とギターのつどい」を実行委員会が主催、市民や辺野古のたまたかい参加者など約60人が参加しました。知念良吉さんの歌と大城シヨウケンさんのギター演奏があり。参加者は熱心に耳を傾けました。この後、名桜大学稲垣絹代名誉教授、辺野古力ヌーメンバーで作家の目取真俊氏、やんばる統一連の仲本興真代表の3氏が「県民投票で辺野古反対の圧倒的民意を示しましょう」、「日本の歴史を変える先駆者の役割を果たそう」などと訴えました。

最後に大阪の「チバリヨ合唱団」が自作の歌を披露し、全員で「沖縄を返せ」を合唱しました。参加した女性は「文化的なつどいで心が洗われました。県民投票がんばります」と話していました。

歴史変える先駆者の役割を果たそう！

安和で「赤土」搬送に抗議続く 違法を重ねる安倍政権、機動隊が職権乱用

名護市安和の琉球セメントの棧橋から、本部の山を切り崩した「赤土」を辺野古埋め立て用土砂として海上運搬が続いています。20日(水)には那覇市やうるま市の島ぐるみなどから100人を超える県民が抗議行動を展開。この日、抗議中に那覇市から参加した女性が機動隊に押されて後頭部を打って倒れ救急車で病院に運ばれる騒ぎがありました。幸いこの女性は「全治1週間」の診断で午後現場に戻りました。現場で土木技師の奥間政則さんは「機動隊の弾圧が安和でも強まっています。安倍政権は、違法に違法を重ねています。県民投票で審判を下したいです」と話していました。



県民投票「反対」の圧倒的民意を！ 名護市内16か所で連日朝立ち

県民投票連絡会名護支部は12日から24日の投票日当日まで市内12か所で朝立ち(スタンディング)を行っています。これは市議会野党議員や前市議14人が分担し、午前7時半から8時半まで市内の主な交差点を分担し取り組んでいるものです。

また同支部は県民投票で「反対に○」を2万票以上目標に、市民への「活動袋」を届け支持カードを集める活動を強めています。

共産党の吉居俊平市議は、産業支援センター前交差点を担当、具志堅徹前県議などと共に連日奮っています。



「沖縄の闘いは 希望です！」長野・佐久の寄せ書きから

- 佐久市の「平和集会」でのメッセージが届きました。2月11日、長野県佐久市で開かれた「平和をつくろうみんなの集会」の参加者が「辺野古」へのメッセージを寄せ書きし、共同センターに送ってくれました。その一部を紹介します。
- 沖縄の人たちの闘いは、私たちの希望です。私たちが頑張ります。
 - 沖縄の皆さんにだけにこんなにつらい、悲しい思いをさせてしまつて本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。日本人は、もっと怒らなくてはいけないのです。
 - 玉城知事のもと、一致して辺野古を守っていただきたい。辺野古の埋め立ては骨を削られるように悲しい。頑張れ沖縄、我々も頑張る。
 - 美しい大浦湾が茶色に変えられることに心がキリキリ痛みます。長野にいても抗議行動を行っている人と同じ気持ちです。
 - あきらめず、力強く、スクラムを組む沖縄の人々に励まされています。本土の沖縄化が恐ろしい。
 - 辺野古新基地はもはや建設できないと思います。2・24県民投票にもはつきり「埋め立てノー」の意思を示し、日本国民全体で国に「辺野古」中止の声を上げよう。
 - 長野・松代の大本営地下壕の建設と沖縄戦の関係を知り、沖縄に大きな犠牲を払わせた当時の政治家・軍部等に強い怒りを持っています。
 - 辺野古で何が行われているか、ずっと見続けたい、忘れない。沖縄のみなさんの「あきらめない」闘いにとっても勇気をもたらしています。県民投票で圧倒的に「反対」が示されますように！